

## 令和2年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(南中学校)

### 平均正答率

(単位 %)

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
南中	58.6	63.0	70.3	57.7	53.1	54.4	51.7	49.2
埼玉県	61.1	63.8	72.7	60.2	58.6	57.7	57.3	55.7

### 質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	中1		中2		中3	
		南中	埼玉県	南中	埼玉県	南中	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	90.2	90.3	95.2	92.7	97.2	93.8
	・だれに対しても進んで挨拶をすることができる	88.2	82.2	87.3	84.4	88.3	85.0
	・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉づかいができる	90.9	88.0	95.2	90.1	89.6	88.5
学習習慣	・学校の宿題をしている	96.7	96.8	98.4	93.2	95.9	92.7
	・学校の授業の予習や復習をしている	88.9	80.9	76.2	70.4	80.7	71.3
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している	71.2	76.8	77.7	71.5	82.0	81.5
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	46.5	51.7	42.9	39.5	26.2	37.5
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	96.7	95.1	96.0	94.7	95.9	95.9
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	54.9	52.1	54.8	44.7	54.4	41.3
その他	・自分には、よいところがある	83.1	74.6	78.6	68.6	69.6	74.5
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	84.3	73.7	79.3	70.7	71.1	68.6
	・将来の夢や目標をもっている	95.5	81.6	79.4	72.4	72.4	71.6

## 南中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

### 【国語】

- 「読むこと」の領域の正答率が高い。特に3年生は文学作品の「読むこと」の正答率が高い。学年が上がると、言語事項の基本的な問題の正答率が高い。
- 言語事項では訓読みの正答率が高く、音読みは無回答が多い。どの学年も文法の正答率が低い。1年生は語彙力が不足している。「書くこと」の領域の正答率が低く、無回答も多い。

### 【数学】

- (中1)速さや単位、比の問題では、県、市ともに正答率で上回った。
  - (中2)各領域の知識・理解を問う問題では、ほぼ全ての問題で県または市の正答率を上回った。
  - (中3)記述式の問題である三角形の合同の証明では、県、市ともに正答率で上回った。
- (中1)小数や分数を含む計算は、正答率が下がるとともに、無解答率が極端に上がる。
  - (中2)一次方程式の解法や錐体の体積のように、除法や分数を含む計算は、正答率が下がるとともに、無解答率が極端に上がる。
  - (中3)二元一次方程式のグラフや動点でつくる図形の面積を一次関数で表したものを選ぶ問題で正答率が下がる。

### 【英語】

- 「読むこと」の領域にかかわる問題での正答率が県平均より高いものが多い。
- 選択肢を与えられた問題ではなく、質問に対し自分の言葉で書く記述の問題への無回答が多い。また「書くこと」の領域にかかわる問題の正答率も他に比べて県平均より下回っているものが多い。

### 【質問紙】

- 生活習慣に関しては、すべての項目に対して全学年が県平均を上回っている。
- 地域の歴史や自然に関心をもっている生徒は、2・3年生で県平均より10%以上多い。
- 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦する生徒が多い。
- 将来の夢や目標を持っている生徒が、1年生で特に多い。
- 学習に関しては、1年生の家庭学習の習慣が身につけていない生徒が県平均より多い。
- 3年生は受検のこともあるのか、勉強が楽しくなく、自分のよいところを見つけ出せない生徒が増え、自信を無くしているようである。

**【国語】**

授業の中で「書くこと」を多く取り入れる。さらに生活記録の振り返りをしっかりと書く。語彙力を高めるために言語事項を強化する必要がある。

**【数学】**

(中1)分数の除法では、課題が見られなかったことを踏まえ、計算問題を機械的に解く前に、基礎基本を理解してから、効率的に解けるようにする。

(中2)分数を含む四則混合計算や一次方程式の計算を反復練習で身に付ける。

(中3)関数の問題を表、式、グラフを関連付けながら解く。

**【英語】**

「聞くこと」「読むこと」などインプットの活動が比較的できているので、「書くこと」「話すこと」などアウトプットを強化する必要がある。

**【その他】**

○学校では、学校生活の中で意図的に文章を書く場を増やし、理由を表現することを取り入れ、生徒の言語活動の充実を図る。

○家庭学習は、時間を決めて計画的に取り組むよう指導する。

○「早寝、早起き、朝ご飯」、「手洗い、うがい、換気」など、家庭での生活習慣のさらなる徹底を呼びかける。